

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1271500777
法人名	有限会社 かづみ
事業所名	グループホーム あんしん
訪問調査日	平成 20 年 7 月 22 日
評価確定日	平成 20 年 8 月 11 日
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 7月26日

【評価実施概要】

事業所番号	1271500777		
法人名	有限会社 かづみ		
事業所名	グループホーム あんしん		
所在地	千葉県茂原市下永吉345-2 (電話) 0475-25-0608		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成20年 7月22日	評価確定日	平成20年 8月 11日

【情報提供票より】(平成20年 6月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 6人, 非常勤 5人, 常勤換算 4.6人	

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺2階建 造り 2階建ての 1~2階部分		
------	----------------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有() 円 無()			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 150,000 円 無()	有りの場合 償却の有無	有() / 無()	
食材料費	朝食	500 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.2歳	最低	76歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	牧野医院、茂原神経科病院、永吉歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホーム あんしん」は、木造2階建ての民家改修型の施設である。手摺りの設置や、出来る限り段差を無くす等の改修を行い、安全面には配慮がなされている。また、入居者の徒歩圏内に協力病院・商店・美容院等が揃っており、買い物や通院等生活に必要な場所へは、職員と共に歩いて行ける便利な立地となっている。職員はみな「笑顔で明るくはきはきと」を心がけ、入居者が安心して楽しい生活を送れるように、アットホームな雰囲気の中で温かい支援を行っている。「グループホーム あんしん」では、介護福祉士の実習生の受け入れを行っており、今後ますます必要とされる介護福祉士の育成に協力をしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価においての改善点は、職員会議にて話し合わせ適切な改善がなされている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員全員で協議して作成されており、外部評価の意義については職員全員が理解している。改善すべき点は職員会議で話し合い、速やかに改善を図り、サービスの質の向上につなげたいと考えている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、現在日程調整中でまだ行われていない。自治会長・社会福祉協議会長・市職員・包括支援センター・民生委員・家族等を構成員として、3~4ヶ月に1回行う予定となっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱・苦情相談窓口が設置されていると共に、面会時に意見や要望等の確認を行っている。意見や要望等が挙がった場合には、職員会議等で検討し適切な対応に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入しており、地域行事等へ参加し交流を図っている。近隣住民とは散歩時に挨拶を交わす関係を築き、ご好意でおすそ分けを受ける等している。また、近隣商店とも馴染みの関係を築いている。近隣からの紹介で、歌やフラダンス等のボランティアも来訪し入居者と交流を深めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「個人を尊重し、安全で安心できる楽しく美しい共同生活体を、地域を含めた和をもって確立する」を主眼とした独自の理念を掲げている。地域密着を意識しながら、理念に基づいたサービスの提供に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示すると共に、職員会議や申し送りにて確認を行い、職員全員で理念を共有している。職員は理念を意識しながら、入居者が安心して楽しく生活できるように温かい支援を行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域行事等へ参加し交流を図っている。近隣住民とは散歩時に挨拶を交わす関係を築き、ご好意でおすそ分けを受ける等している。また、近隣商店とも馴染みの関係を築いている。近隣からの紹介で、歌やフラダンス等のボランティアも来訪し入居者と交流を深めている。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で協議して作成されており、外部評価の意義については職員全員が理解している。改善すべき点は職員会議で話し合い、速やかに改善を図り、サービスの質の向上につなげたいと考えている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、現在日程調整中でまだ行われていない。自治会長・社会福祉協議会長・市職員・包括支援センター・民生委員・家族等を構成員として、3～4ヶ月に1回行う予定となっている。		事業所の活動報告や意見交換等を通して、施設の地域理解の促進とサービスの質の向上を図るため、運営推進会議の早期開催を期待します。

【千葉県】グループホーム あんしん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と連絡を取り合い、施設運営全般に関する相談等を随時行っている。また、外部研修会の紹介を受ける等の連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時や手紙・電話にて、入居者の生活状況や金銭管理等の報告を行っている。また、生活状況に変化があった場合には、随時電話連絡を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それを運営に反映させている	意見箱・苦情相談窓口が設置されていると共に、面会時に意見や要望等の確認を行っている。意見や要望等が挙がった場合には、職員会議等で検討し適切な対応に努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入職のあった場合は、慣れた職員がサポートし入居者と早く馴染みの関係が出来るよう努めている。また、離職のあった場合には、入居者の様子に応じて言葉に気を付けて説明する等、ダメージを最小限に抑えるように配慮している。		ご家族に対して入退職の報告を行っていただくことにより、ご家族との信頼関係をより一層深めていただくことを期待します。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に積極的に参加を促し、職員の質の向上を目指している。また、緊急時対応等の内部研修及び会議や日常業務での指導によっても、職員の質の向上を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	3ヶ月毎に地域のグループホーム連絡会に参加し、情報交換や勉強会を行っている。また、相互の見学会も行っており、他事業所の優れた部分を取り入れながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>随時見学を実施していると共に、希望者には体験入居も実施している。施設の雰囲気を理解し、本人が安心して納得した上で入居してもらっている。入居後は常に職員が寄り添い、声掛けに工夫し、出来るだけ早く馴染めるように支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。職員は、入居者から生活の知恵や知識を学び、常に尊敬の念を忘れず、共に支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>面談を通じて、生活状況や本人及び家族の意向を確認している。また、本人の意向の把握が困難な場合は、入居後の生活状況や会話の中から思いを汲み取り、職員会議等で周知を図り適切な対応に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画においては、職員会議で話し合い、本人や家族の意向等を踏まえた上で、介護計画作成担当者が作成している。作成後は職員会議にて周知を図っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回介護計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化のあった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。介護計画においては、職員会議で話し合い、本人や家族の意向と医師や看護師の意見を踏まえ、計画作成担当者が作成している。作成後は職員会議にて周知を図っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人内のデイサービス施設の利用や、他のグループホームとの交流を行い生活の活性化を図っている。通院の付添いや買い物等、本人や家族の希望に応じて柔軟な支援を行っている。また、出張理美容も実施され身だしなみの支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも、希望のかかりつけ医への受診が可能となっており、状況に応じて往診も行われている。年一回の健康診断を実施すると共に、主治医や常勤の看護師による健康管理がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期における方針を明文化し、家族に同意を得ている。重度化した場合や終末期においては、再度家族の意向を確認すると共に、協力病院との連携により適切な対応を図っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類については、事務所で保管し個人情報の保護を図っている。職員には接遇マナーの指導を行い、入居者への言葉使いに気を配り、プライバシーを損ねないよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ベースとなる簡単な日課はあるが、一人ひとりのペースや希望に合わせ、自由な生活を支援している。希望を言い出せない入居者に対しては、職員が声掛けや提案を行い希望を汲み取るよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	希望や能力に応じて調理や食事の準備、片付け等を共同で行っている。献立の作成には入居者の要望を取り入れ、職員が作成している。また、定期的に配食サービスや外食等を利用し食卓に変化をつけたり、食の楽しみを上げている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は希望に応じて回数や時間等柔軟に対応している。体調や希望に応じてシャワー浴や足浴、清拭を実施し清潔保持に努めている。入浴拒否については、タイミングや声掛けに工夫して対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。また、毎日リハビリを兼ねた「生き生き体操」で体を動かしている。歌やフラダンス、手芸等のボランティアの来訪や、配食サービスの利用、誕生日会の実施等で入居者の楽しみや気晴らしを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩やドライブ、買い物等の外出支援を行っている。また、近隣行事への外出、お祭り見学、外食会等、戸外での楽しみを支援している。同法人内のデイサービス施設へ出かけ、レクリエーションに参加して外部との交流も図っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の安全面を考慮して玄関の施錠を行っているが、希望に応じて開錠し外出している。入居者が外に出た際は、職員が声掛けや見守りで対応している。居室に鍵は設置されていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導のもと、年2回消防避難訓練を行っている。避難マニュアル、対応手順書、緊急連絡網等が施設内各所に掲示され、周知徹底がなされている。また、災害時用の備蓄や非常持出袋を備え、災害時における対策を図っている。		

【千葉県】グループホーム あんしん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の嗜好や能力に合わせた適切な食事提供がなされていると共に、摂取量の記録も行われている。摂取量が少ない場合は間食等で補い、必要な栄養の確保に努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一般住宅を改装しており、各所に手摺りを設置し、出来る限り段差を無くす等の改修を行い、安全面に配慮がなされている。共有スペースは季節の飾付けや行事の写真が掲示され、明るい雰囲気作りがなされていると共に、大きなソファが設置されゆったりとくつろげる様になっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>希望により、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、入居者が安心して居心地良く過ごせるよう配慮されている。全居室にエアコンが設置され、職員によって適切な空調管理がなされている。</p>		